

いしかわ気候変動適応センター通信 第18号

北陸地方の今年の冬は平年並み

気象庁が発表した3か月予報（1月～3月）によると、今年は冬型の気圧配置が長続きせず、寒気の影響を受けにくいと、向こう3か月の気温・降水量・降雪量ともに平年並との予報ですが、一時的に強い寒気が入り大雪や暴風雪となる可能性もあります。防災気象情報を確認し、大雪や風雪への万全の対策・対応をとっておくことが大切です。

冬のお出かけの際は、「**今後の雪**」や「**石川の雪みちナビ**」をご活用ください。
また、**大雪時は不要不急の外出を控えましょう。**



1 気象庁「今後の雪」(<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>)

1 時間毎の積雪の深さと降雪量が6時間先まで地図上に表示されます。

2 石川みち情報ネット（冬期道路情報）(<https://douro.pref.ishikawa.lg.jp/>)

県内道路の積雪情報等（降積雪量・気温、道路監視カメラ画像、通行規制情報等）をリアルタイムで提供しています。

3 雪害への備え (https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai_g/snow/)

除雪作業時等、様々な場面で雪害を防ぐための注意事項をまとめています。

＜地球温暖化と積雪の関係性＞

文部科学省及び気象庁「日本の気候変動2025」によると、IPCC 評価報告書で用いられた4℃上昇シナリオ（追加的な緩和策をとらなかった世界）では、地球温暖化に伴って全国的に降雪・積雪は減少するが、本州の山間部等の一部地域では、極端な大雪時の降雪量が増加するなど大雪リスクは残ると予測されています。温暖化が進行した状況では、海面からの水蒸気の供給量が増えるとともに大気が蓄える水蒸気量も増えており、強い寒気の吹き出しがあった場合などには、沿岸域など気温が0℃を超えている地域では大雨となるが、気温が低い内陸部や山地では大雪として降ることになるためです。

環境フェアに出展しました！

昨年11月に開催された「いしかわ環境フェア2025」に出展しました。気候変動に関する取組についての展示を行ったほか、「夏は40℃以上の暑～い日が当たり前になったら、どうする？」など、ガチャを回して出た質問に対して、自由に考えてもらい、「適応の木」をみんなで完成させるという企画を実施しました。親子で声をかけあい、楽しみながら気候変動適応を自分事として考えていただきました。



＜石川県気候変動適応センター＞

事務局：石川県生活環境部カーボンニュートラル推進課

電話：076-225-1469 FAX：076-225-1479 メール：cn2@pref.ishikawa.lg.jp

HP：<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/tekiou/index.html>